

感染拡大を止めるにはPCR等検査の拡大必要



11月後半から第3波 伊勢崎の新規感染者数

感染を抑えてこそ経済を動かすことができます。感染爆発を止めるには無症状感染者を早期に発見し、保護することが必要です。

熱のある人や狭い範囲の濃厚接触者だけでなく、感染が広がっている所の面的検査、重症化しやすい医療や介護施設での定期的な検査の実施が必要です。

国の責任でこうした検査を実施するまでは、県・市で検査を行うよう要望しました。



重税反対の集会にて

2020年全力で奮闘



コロナ対策の支援を要請する



核兵器廃絶の平和行進に今年も参加



学校給食の無料化を教育長に要請

2021年今年も頑張ります

議会エピソード 21

発言通告にFAXは良いがメールは認めず、市からの連絡はFAXで来るなどペーパーレスとは程遠い、デジタル化に乗り遅れた伊勢崎市議会。ようやくパソコンタブレットを全員に配置する案が出ています。検討委員会の設置を1月に決め、来年度中に結論を出し、配置は2022年度からと2年先の計画です。

30人の議員でさえこんなに時間を掛けるのに、1万7千の小中学生全員のタブレット導入については、市長・教育長が「機器さえ揃えばいいのか」と事前準備の大切さを語り3年計画での導入を強弁。その十数日後に、全員分を年度内に契約すると方針を大転換。

前日の新聞報道には、市長選に立候補表明した某市議の「年度内に全児童生徒にタブレットを配置したい」という言葉が…。突然の方針転換に、議会でも様々な憶測が飛び交いました。(K)



北島 元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44